

メスイキ・ドライオーガズム
前立腺が一番気持ちよくなれる
エネマ・アネロスの正しい位置とは？
正しい使い方を徹底解説♡

メスイキ伝道師 IZUMI がお伝えする
究極の快楽 メスイキ達成における
一番大切な前立腺愛撫について全公開

みなさんこんにちは IZUMI です

さて今回は

メスイキ・ドライオーガズム

前立腺が一番気持ちよくなれる エネマ・アネロスの正しい位置とは？

をお送りいたします

たくさんの DM をいただくなかで

- ・アネロスを入れてもあまり気持ちよくなれない
- ・どの部分が気持ちよくなれるのか分からない
- ・アネロス入れてるけど合っているのかな…

などなど

様々な疑問を持たれている方がいらっしゃいます

本日はせっかくエネマやアネロスを購入されたのに

中々快樂ポイントが見つけれない方向けに

最高の前立腺愛撫ポイントがどこにあるのかをお送りできればと思います

その中でも

ある程度気持ちよくなれているんだけどその先に行けない！

という方や

何となく気持ちいい気がするんだけどそれで終わってしまうなど

このような状況に当てはまっている方にも

ぴったりの内容になっているかと思います

せっかく大金をはたいて購入されたエネマグラ・アネロス

商品は間違いなくメスイキするために設計されたものであり

ものは間違いありません

あとはこのアネロスの力をどこまで引き出せるか

これが大命題になるのだと思います

さっそくいきましょう

目次

1. 前立腺はとても鈍感である	4
2. 前立腺以外は気持ちよくないの?	7
3. アネロスによる最適な挿入位置とは	
4. なぜ挿入した位置が正しいのか?	
5. メスイキするうえでの「そもそも」	
6. アネロスが自分で動き出すってどういうこと?	
7. 前立腺と直腸に自立行動ユニットがある	

1. 前立腺はとても鈍感である

まず最初に申し上げたいことがあります

それは

前立腺は最初から気持ちいいものではない
ということです

筆者の記事をご覧になった読者様はよくご存じかと思いますが
これは過言ではなくこの事実だけは声を大にして言いたい

前立腺というのは通常

竿を上下に擦って白い液体を出す**補助**とされてきました

竿を上下に擦ると気持ちいい

これも事実ですが

厳密に言えば竿が気持ちいいのではないのです

竿の根本

前立腺が気持ちよくなっているのです

この事実は例え今理解できずとも

そういうものだと捉えていただけますと幸いです

男性であればこれまで幾度となく

竿を上下させて白い液体を出されたのではないかと思います

これは海綿体である竿の一部が精囊と繋がっており

竿⇒前立腺⇒精囊の順番で快楽が繋がっていくのですが

白い液体が出てしまうのは

この**精囊**が刺激されてしまうからなんです

ではなぜその手前にある前立腺が先に気持ちよくならないのか

これは子孫繁栄のためなのです

男性は基本的に子供を作る為の種を与えます
それは数少ない魅力的な女性に対して行う本能的なもので
いわゆる SEX はただ白い液体を出すための行為であって
快楽を得ると目的よりも
白い液体をさっさと出して種を植え付けることが主になります

よって出し終わった後は賢者タイムとして一気に冷静になり
その女性から離れようとします

いかがでしょうか
この本能によるものが
行為による気持ちよさよりも子孫繁栄を先に出していく所以なのです

では男性の構造として前立腺を用意したのか
白い液体さえ出せばいいのであれば精囊だけで十分ですよ

ここに答えがあるとすれば
やはり快楽を生み出すきっかけは前立腺にあるということになります

白い液体を出す瞬間
メスイキよりも圧倒的に快楽レベルが低いとはいえ
やはり気持ちいいですね

気持ちいい快楽が一気にこみ上げる
このこみ上げている瞬間はどこが快楽を得ているのか
観察してみると**竿の根本**なのです

しかし竿を上下させている最中は
脳からも様々なホルモンが放出され
全てを細かく感覚を捉えることはできません

しかしこれまでのことを整理してみると
前立腺が快楽を発生させる器官であることは明白です

いかがだったでしょうか
筆者がこれまで申し上げてきた
前立腺はとても鈍感な器官という意味が
ご理解いただけたのではないかと思います
次にいきましょう

2. 前立腺以外は気持ちよくないの？

さてアナニーを行ううえで抑えておきたいことは
何も**前立腺のみに固執する必要はない**ということです

メスイキに拘るのならば
前立腺にスポットを当てた
アネロスを使用することを強くオススメしますが

例えばディルドで楽しむ場合も
前立腺を目掛けて刺激する方法や
そのまま出し入れすることで全体的に楽しむ方法など
それは様々です

さて既にこの章での結論を伝えてしまいましたが
アナニーを行うならば前立腺にこだわる必要はありません

楽しむこと
これに尽きます

ではどう楽しむのか
ディルドを使っている場合でも
アネロスを使っている場合でも
少しでも快感を感じられているならばこれを只々繰り返すこと

只々求めず
今ある快感を快感と認識して
暖かく気持ちいい温水プールに浮かんでいるような
ぬるい温度の温泉に浸かっているような
只々気持ちいい感覚を気持ちいいと感ずること

この感覚さえ頭と体で理解することで

いずれにしても絶頂を迎えるための基本になります

含みを持たせるような言い方になりますが
イクということに固執してはなりません

ここで結論を言うとしたら
前立腺以外でもアナル内の壁も入り口も
全てが快楽器官になり得ます

開発度合いにもよりますが
内壁を擦りあげられるディルドを使用することで
快楽を得る事もできます

長々と書きましたが
前立腺だけを狙って開発を行っている
そこを外してしまっている場合は
メスイキ到達が遅くなってしまう原因になるかもしれませんね

いかがだったでしょうか
一つのことに固執しすぎないことについて
少し長く書かせていただきました

これは問題に対して完全に解決したくなる癖をお持ちの方にも
当てはまるのですが
ネットや書籍で得られた情報をもとに
快楽を感じられないからといってすぐに諦めたり
執拗に攻め続けたりしてはなりません

何事も楽観的に
これがメスイキ到達の最大の近道かもしれません

IZUMI KANAE